

スモールワールドコーヒーアワー Small World Coffee Hour

2020 年度 活動報告

総合文責：吉岡優樹

1. 団体紹介

Small World Coffee Hour はイベント「Small World Coffee Hour」（以下、コーヒーアワー）を企画・運営する団体である。留学生・日本人学生を問わず、様々な所属・学年の人が出会い繋がることのできる場を提供することを目的として、2005 年後半に発足した。以降、イベント内容に工夫を凝らし、組織運営を円滑化することで、10 年以上継続するに至っている。

1.1 理念

留学生や国内学生をはじめとする様々な文化的背景を持つ人たちに、学内での交流の場を提供することを目的としている。それぞれの文化的背景を考慮した、誰もが楽しめるイベントを行えるよう心掛けている。

1.2 特徴

- ・有志の学生が中心となって活動している。（学部・学年・国籍は問わない）
- ・誰でも参加できるオープンなイベントを月に 1 度のペースで開催できるよう企画・運営をしている。
- ・イベントでは、参加者同士が話すきっかけとなるようなテーマやアクティビティを実施している。



Small world
Coffee Hour
スモールワールド コーヒーアワー

Let's play introduction activity and build your network on campus!
All are welcome! Come join and have a nice time together ♪

自己紹介をしながら国際交流してみませんか？コーヒーアワーでは、コーヒーやお茶を片手に、のんびりした雰囲気での国際交流を楽しめます！

Past Events
過去のイベント

Next Event
Detail will be informed soon!
詳細はこちらから

Instagram  Facebook  

主催：国際教育交流センターアドバイジング部門&Small World Coffee Hour Team
問い合わせ先:国際教育交流センターアドバイジング部門 Advising & Counseling Services
Email: isa@iee.nagoya-u.ac.jp
Web page: <http://acs.iee.nagoya-u.ac.jp/program/smallworld.html>



2. 活動紹介

2.1 活動について

2.1.1 ミーティング

週に1度の頻度で行い、企画書をもとにして、その月のコーヒーアワーのテーマや内容、役割分担、会場のレイアウトなどを決めている。各ミーティングでは、議事録を作成し、参加できなかったメンバーも内容を共有できるようにしている。

2.1.2 広報活動

各イベントのポスターを作成し、学内に掲示する。コーヒーアワーの Facebook、Instagram ページにポスターを投稿する。また、海外留学室等のメールで広報していただく。今年度はコラボレーションした他の国際交流団体の SNS 等でも広報してもらった。SNS における広報活動が中心であった。

2.2 コーヒーアワーについて

2.2.1 当日の動き（目安）

例年

15:00 国際棟給湯室にてコーヒーを準備/会場で企画書に沿って設営開始

16:15 受付開始

16:30 イベント開始

18:00 イベント終了、片付け

18:30 振り返りミーティング

今年度 オンライン開催

11:20 スタッフが web ミーティング上で集まる

11:50 参加者の入場を許可する

12:05 イベント開始

12:55 イベント終了

2.2.2 今年度の工夫点

今年度は6・7・11・12月の開催となった。感染症感染拡大によって海外との往来、学生の登校が制限される状況下で、対面でのイベントができず、今年度は全てウェブミーティングツールを用いたオンラインイベントとなった。広報活動やイベント内容など手探りの状態であったが、画面を共有できることや、海外からも参加できるという利点があった。留学生と国内学生の交流が難しい状況において交流の場を提供することができ、来日できない留学生や、登校できない新一年生にも参加してもらうことができた。また、国際交流団体とコラボレーションしてイベントを開催した。

3. 年間行事記録

【6月 みんなではなそう】

日時：2020年6月10日水曜日 12:00-13:00

コラボレーション：HELPDESK

参加人数：約20人

イベント概要：

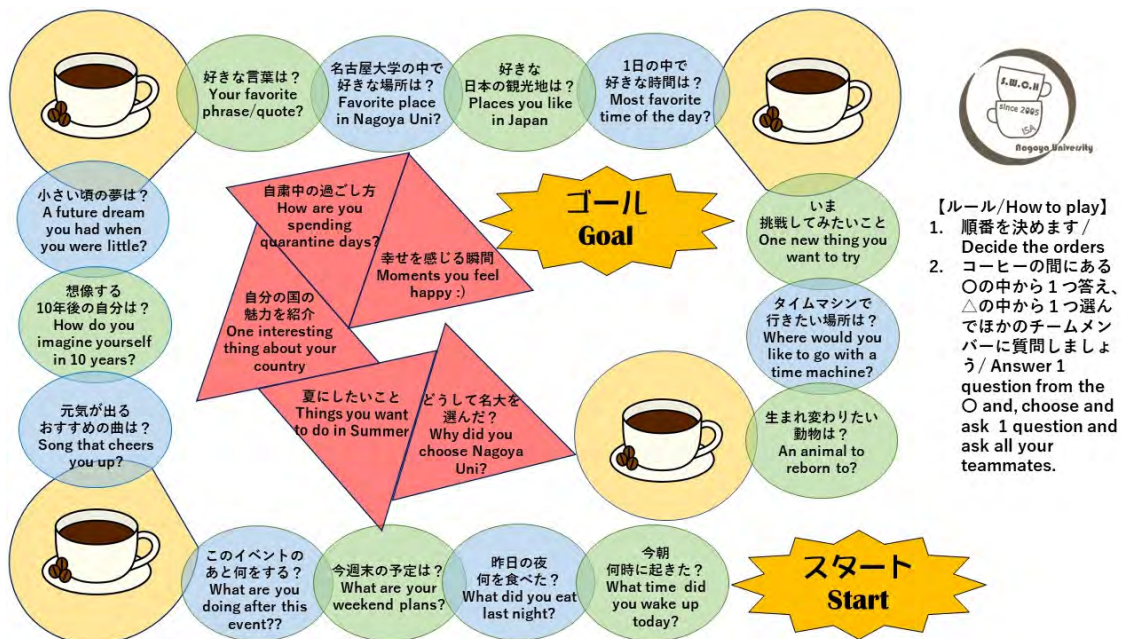
オンラインで実施した。ブレイクアウトルームにわかれ、自己紹介後に、すごろくシートの質問に順番に答えていく。質問は、「好きな言葉」「今挑戦してみたいこと」など。メンバーをかえて二回行い、一回目は言語希望にわかれて、二回目は日英ミックスで行った。

実施した感想：

すごろくの内容が良く、とても盛り上がった。とくに後半は盛り上がり、すごろくが終わらないこともあった。初めてのオンライン開催だったが、大きなトラブルなく実施することができた。

気づいたこと(改善点など)：

1,2年生の学生にもっと話してもらえるように工夫する必要があると感じた。英語で行ったところ、会話に入ってくられない人がいた。グループを変えて行う二回目で、すごろくシートバージョン2を用意することができればさらに良い。



【7月 オンライン写真展】

日時：2020年7月13日水曜日 12:00-13:00

コラボレーション：HELPDESK、COFSA

参加人数：約20人

イベント概要：

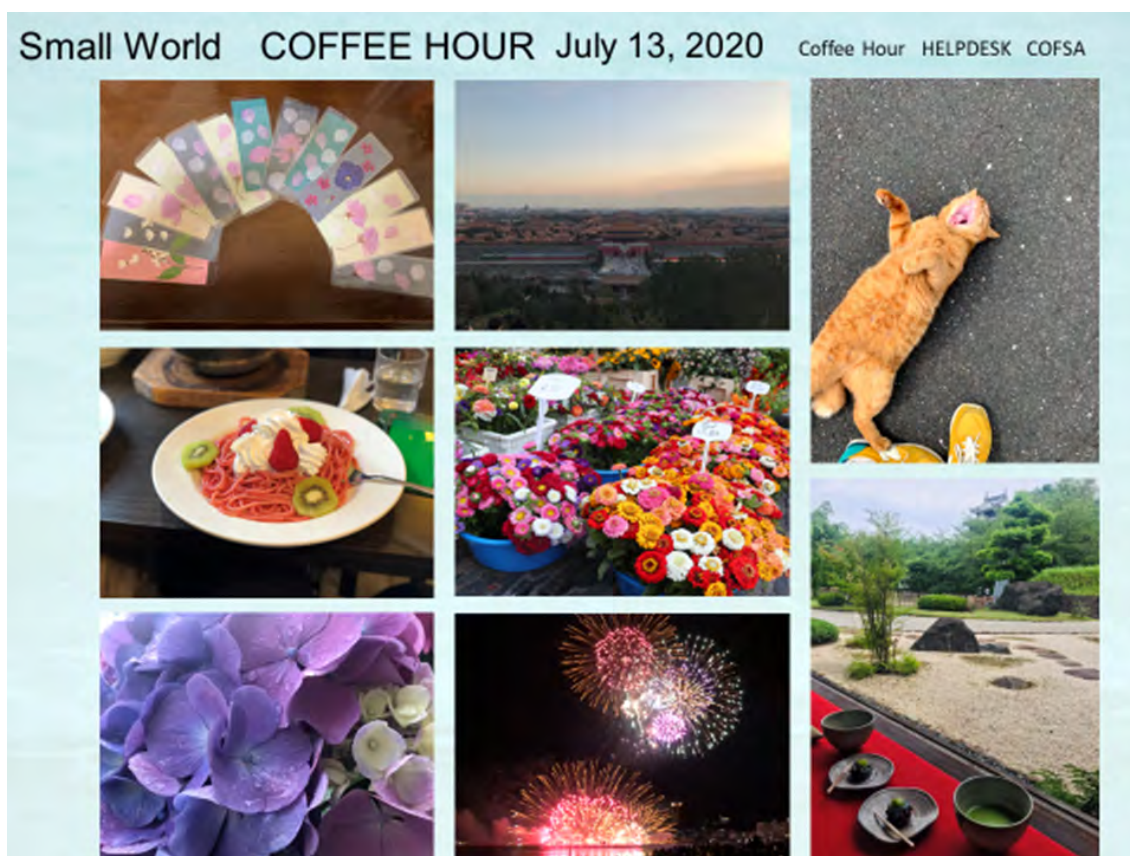
オンラインで実施した。登録後、イベント開催前に数枚の写真を google form で送ってもらう。ブレイクアウトルームにわかれ、自己紹介後に、写真を画面で共有しながら、思い出等を話す。2ラウンド行った。

実施した感想：

すてきな写真とエピソードで楽しめた。おすすめの場所、自慢のペットなどの話で参加者と盛り上がる事ができた。

気づいたこと(改善点など)：

写真を準備してもらう企画だったので申込みにハードルがあるかもしれないと感じた。もう少し気軽に参加してもらえる方法を考えたい。



【11月 ゲームイベント】

日時：2020年11月11日水曜日 12:00-13:00

コラボレーション：HELPDESK、COFSA

参加人数：約20人（うちファシリテーター7名）

イベント概要：

オンラインで実施した。ブレイクアウトルームにわかれ、ジェスチャーゲームとワードウルフを行った。

実施した感想：

1. ジェスチャーゲーム

ファシリテーターが初めに例を示し、その後はzoomの参加者リストで順番にジェスチャーをしてもらった。ルールは皆事前に理解していたようで、スムーズに進行した。10分間であったが、5人グループで一周と少し行うことができた。皆おもしろい（少し難しい）トピックのジェスチャーをしており、盛り上がった。e.g.) Tiktokを撮影する人、マニュアル車を運転する人、スパゲティを食べる人

2 ワードウルフ

こちらはゲームのルールについて初めに質問がいくつか出たが、その後しっかり理解してもらうことができスムーズに進行した。ファシリテーターがトピックを個人チャットで送信し、参加者に議論をしてもらった。初めは皆探りながらのプレーだったが、徐々に大胆な立ち回りを見せる参加者も出てきて、結果発表の際には大いに盛り上がった。

気づいたこと(改善点など)：

ワードウルフでの使用言語について、あるグループでは皆に希望を聞き、主に英語で行ったが、ゲームが複雑で駆け引きを含むため、全て英語で行うとなかなかハイレベルに感じた。途中で実際に少し行ったが、皆で通訳しながら、日英ミックスでやる方法も良いかもしれない。

【12月 オンライン写真展2】

日時：2020年12月23日水曜日 12:00-13:00

コラボレーション：HELPDESK、COFSA

参加人数：約15人（うちファシリテーター6名）

イベント概要：

7月と同様に、写真共有イベントをオンラインで行った。テーマを「ふるさとやふるさとのように感じる場所」とした。登録後、イベント開催前に数枚の写真を google form で送ってもらう。当日ブレイクアウトルームにわかれ、自己紹介後に、写真を画面で共有しながら、思い出等を話す。2ラウンド行った。

実施した感想：

私が参加したブレイクアウトルーム2つでは、スムーズに写真を共有することができていた。写真について互いに感想を述べたり、質問をしたりして活発に会話することができた。

気づいたこと(改善点など)：

時間配分が上手くいかないことがあった。活発に話をしているとなかなか次の人に進めることができず、写真を見せる時間が短くなってしまっている人がいた。

4. メンバー紹介

石川仁貴 工学部機械航空宇宙工学科 4年
院試と卒業論文に追われていた一年でした。

梅本涼 工学部機械航空宇宙工学科 4年
今年はイベント自体にはなかなか参加することができませんでしたが、来年度も新型コロナウイルスに負けず、コーヒアワーがよりよいものになっていけばいいと思います。

長田恵梨菜 法学部 4年
従来通りの活動ができなくなり、新しい挑戦だらけの一年でしたが、従来のような皆さんにとっての出会いの場、いこいの場となれていたら幸いです。これからも、コーヒアワーが皆さんの居場所であり続けてくれると信じています。

木村海里 経済学部経済学科 4年
今年は新型コロナウイルスの影響でオンライン開催となりましたが、オンラインならではの企画を立案するなど、苦境を楽しいものに転換できました。今後も、みんなが楽しめるイベントを催して、さらに盛り上げていってほしいと思います。

崎啓人 工学部マテリアル工学科 4年
今年度は対面でのイベントは開催できませんでしたが、インターネット環境を駆使してオンラインにて活発な交流ができました。僕は残念ながらイベントに参加することはできま

せんでしたが、オンラインだからこそ実現した企画もあり、とても楽しく有意義な活動だったと思います。

福島優理亜 理学部生命理学科 3年

大学内で国際交流ができる素敵な場です。自然な英語をたくさん浴び、そして話すことができる機会は本当に貴重だと思います。コロナウイルスの状況も見つつ、来年度はさらに活発に活動できることを願っています。

吉岡優樹 環境学研究科都市環境学専攻 修士1年

コーヒーアワーでは、スタッフ、参加者として多様な人と関わるができることに魅力を感じています。現在海外との往来が難しくなっていますが、これからも工夫しながら国際交流の機会をつくり、私も参加できれば良いなと思います。